

船舶事故等調査報告書

平成26年8月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第50号
事故等種類	沈没
発生日時	不明（平成25年10月5日 10時00分ごろ～6日 07時30分ごろの間）
発生場所	沖縄県宮古島市平良港西仲船だまり 平良港北防波堤灯台から真方位096° 960m付近 （概位 北緯24° 48.8′ 東経125° 16.8′）
事故等調査の経過	平成25年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	引船 第五 <sup>ひで</sup> 秀丸、19.99トン
船舶番号、船舶所有者等	260-15746 沖縄、共和産業株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	全損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、台風23号の接近に備え、平成25年10月4日16時00分ごろ、平良港西仲船だまりに係留していた起重機船の舷側に船首を北東に向け、右舷着けで係留した。</p> <p>船長は、本船の操舵室等を見回って異常のないことを確認した後、開口部を全て閉鎖して離船した。</p> <p>船長は、5日10時00分ごろ、本船の係留状態を確認したところ、異常はなかったが、6日07時30分ごろ、係留場所において、沈没した本船を発見した。</p> <p>本船は、台風が通過した後、起重機船に引き揚げられ、排水処理が施された。</p>
気象・海象	<p>気象：宮古島地域気象観測所における10月4日から6日にかけての観測値は、次のとおりであった。</p> <p>天気 雨、風向 北北西～南南西、最大風速 23.7m/s、最大瞬間風速 37.0m/s</p> <p>警報：10月5日05時ごろから6日14時ごろまで、宮古島地方に暴風、波浪警報及び大雨、雷注意報が発表されていた。</p>
その他の事項	<p>本船は、本事故当時、起重機船の舷側に船首から4本及び船尾から4本の合計8本の係留索を取って係留していた。</p> <p>船長は、これまで幾度となく台風接近時に平良港西仲船だまりに着岸した起重機船等に係留した経験があり、沈没することはないと思っていた。</p>

	<p>平良港付近では、平成25年10月5日早朝から6日にかけて、強風が吹き、港内には大波が打ち寄せていた。</p>
<p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし なし あり</p> <p>本船は、平良港西仲船だまりに係留中、5日10時00分ごろ異常がなかったが、6日07時30分ごろ船長が沈没しているところを発見したので、この間において、台風の影響で港内に打ち寄せた波を受け、船内に海水が流入したことから、沈没した可能性があると考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、平良港西仲船だまりに係留中、台風の影響で港内に打ち寄せた波を受け、船内に海水が流入したため、沈没したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象情報を十分に把握し、風や波の影響を受けにくい安全な場所に係留すること。</li> </ul>